

<認知症対応型共同生活介護用>

<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	10
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	4
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	1
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	7
1. その人らしい暮らしの支援	5
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	23

事業所番号	1472000601
法人名	有限会社 共営
事業所名	グループホームMOMO
訪問調査日	令和5年3月3日
評価確定日	令和5年3月23日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は23項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和4年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472000601	事業の開始年月日	平成14年11月1日
		指定年月日	平成14年11月1日
法人名	有限会社 共営		
事業所名	グループホームMOMO		
所在地	(254-0076) 神奈川県平塚市新町9-7		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	9名
		ユニット数	1ユニット
自己評価作成日	令和5年2月21日	評価結果 市町村受理日	令和5年3月28日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「ホッ」と心やすらぐ温かいピンクをホームの内装に生かし、明るく住みよいホームへの実現に向け一人一人と寄り添い入居者と職員との絆を深めています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和5年3月3日	評価機関 評価決定日	令和5年3月23日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>●この事業所は、有限会社共営の経営です。2002年に設立され「生まれ育った土地を離れることなく、穏やかな暮らしを送っていただきたい」との思いで「グループホームMOMO」を設立しました。外観は施設長の名前から付けられた事業所名と同じく、入口も内装も桃色の色合いで統一された、明るさと温かさを感じられる1ユニット定員9名の事業所です。場所はJR平塚駅からバスで約10分「中原東」バス停の目の前にあります。近隣には、学校や大きな総合公園などがあり、四季折々の移り変わりが楽しめる環境にあります。</p> <p>●法人の理念「健康と生きがい対策・個別性を尊重したケア」を全職員で共有し、利用者同士も助け合い、リビングにはいつも笑い声と歌声が溢れている、サロンのような事業所です。食事は職員が季節感・彩り・品数等に配慮し、毎日手作りで提供しています。楽しく食べることを大切にしており、旬の食材や旬のフルーツに溢れた食事は、利用者に喜ばれています。</p> <p>●コロナ禍の影響で、通常行っていた買い物や散歩に行かれていませんが、外気浴を兼ねて12月に事業所の玄関先でハロウィーンパーティーを行い、通りがかった方々にグループホームの存在を知っていただけました。また、家族の面会は、現在パーテーション越しという制限は設けていますが、玄関で対面できるよう支援しています。遠方の家族とは、様々なリスクもあることから、電話で話をさせていただくようにしています。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームMOMO
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの見やすい場所に掲示し、入居者及びその家族等に分かりやすく説明している。理念は「健康と生きがい対策、個別性を尊重したケア」全職員が理解し、共有している。	2項目の理念「健康と生きがい対策」「個別性を尊重したケア」を、リビングや玄関に掲示しています。利用者が暮らしやすく、笑顔の絶えない事業所を目指し、ミーティングで話し合い、理念に基づいたケアの実践につなげています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日頃から関係を深める働き掛けを行っている。地域の方達が遊びに来たり、立ち寄ってくれたりするよう取り組んでいる。地域の行事には情報誌の配布にて参加させていただき地域住民との交流をしています。	地域の一員として自治会に加入し、回覧板で地域の情報を把握しています。自治会の会長や会長夫人には、日頃から声掛けをいただき、地域の行事に参加してきました。地域の福祉系の情報誌に「MOMO」を載せていただくなどの交流をしています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日常的に地域の人と交流することを通し、理解を深めている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	職員が日常的に学ぶことを、ホームとして推進しており、的確に助言をできるようにしている。自治会長、民生委員、家族、管理者、施設長等が参加して実施しています。	現在はコロナ禍の為、対面での運営推進会議を開催できていませんが、2ヶ月に1回書面で、事業所の現状・活動報告・行事報告を行い、送付しています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	連絡を密にとり、積極的に受託している。	市の高齢福祉課とは、コロナでの相談事等で、密に連絡を取り合い、協力関係を築いています。また分からないことがあった時には、直接伺い相談をしています。市の徘徊高齢者SOSネットワークシステムへの登録や、グループホーム連絡会への加入もしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束してはならないことを全ての職員が認識しているが拘束にならない様、防止に努めている。	身体拘束のマニュアルを完備しています。利用者の行動の背景を理解し、事例を出して検討し、拘束にならないよう努力しています。日頃、何かあった時には、ミーティングや申し送りですぐに対応を話し合っています。	今後の継続
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	常に入居者は見守りやすい場所において一人一人の位置と様子を把握している。言葉がけ、言葉遣い、スタッフお互い注意している。	虐待防止のマニュアルを完備しています。言葉がけや言葉遣いには特に配慮し、大声を出して利用者を驚かせることなどの無いよう、職員同士お互いに注意しています。職員とは、一緒に昼食を取るときに雑談をしたり、困り事を相談するなど、ストレスを溜めることの無いよう配慮しています。	今後の継続
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、成年後見制度を活用している。利用者がいて学ぶきっかけになっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前よりご家族と話し合いを重ね、入居に至る経過、希望等を十分に検討している。また、契約時には施設長、ケアマネ等立ち合い信頼関係を築き繋げている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	個々のモニタリングを発行し、現状報告と共に、家族の意見、希望を書き込みスペースを活用し、今後のケアへの反映に繋げている。	2ヶ月に1回、運営推進会議のお知らせを送付し、意見や要望の書き込みをお願いしています。3ヶ月に1回、個々のモニタリングを行い、記入したモニタリング表を2部家族に送付し、意見欄に質問や意見等を記入して、1部返送していただき、介護計画に反映させています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者は職員との絆を大切にし、管理者とも話し合いながら常に職員の要望、意見を聞く姿勢でいます。	朝の申し送りや月1回のミーティングで、職員から運営に関する意見や提案などを聞き、連絡ノートで共有しています。代表者も現場に入っており、その場で職員の話聞き、意思決定につなげることもあります。代表者・管理者は日頃から風通しの良い職場環境を心掛けています。	今後の継続
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常に自信を高めるような言葉かけや、働きかけをしている。一緒に喜び合い、感謝すること。	常に、職員が自信を高めるような言葉かけや働きかけをしています。希望休が取れるよう、管理者は日頃から職員の話をよく聞き、働きやすい職場環境作りに努めています。	今後の継続
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ケアを行う上での課題を解決するため、すべての職員で定期的にミーティングを行い、意見交換を行って合意を図っている。	ケアを行う上での課題を解決するため、月1回のミーティングで意見交換を行っています。地域介護システムの研修があり、介護技術・入浴技術・訪問入浴の実務の勉強会を受講しました。グループホーム連絡会に加入し、リモート会議に参加しています。	今後の継続
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ケアサービスの向上に外部関係者と協力体制を確保している。		
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	気がかりな事や意見、希望などを職員に気軽に伝えたり、相談したり出来るよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の求めている事を把握し一つ一つクリアしていけるよう、出来ること、出来ないことを確認しながら、お互いの信頼関係を得られるよう取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の情報提供を参考に改善に向けた早急な対応を支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	得意なこと、好きな事を見出し、楽しく日々を過ごせるよう支援している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の暮らしの状況提供と共に家族と同じ思いで支援している。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話での直接のやりとりや手紙のやりとり、家族の協力で外出の機会を設け、継続的な交流ができるよう支援している。	電話や手紙のやり取り等、馴染みの関係が途切れないよう、支援しています。コロナ前は、友達や知り合いの来られた方もいました。現在は近くの家族は、パーテーション越しに玄関で会っていただいています。遠方の家族とは電話でお話しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士で自由に過ごせる場所を提供し、気の合う仲間作りの環境を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	日頃から関係性が途切れないよう努力している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	課題を明らかにし、本人の経験や状況に沿った暮らしの支援をしている。	日頃の関わりの中で課題を明らかにし、本人の経験や状況に沿った暮らしの支援をしています。パッチワークや刺繍など、本人が出来そうなことを見つけて、やっていただけるかどうか、寄り添いながら支援しています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族より情報を得、中止か継続かを話し合い取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りできめ細かい対応ができるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に一度の会議で職員全員で意見交換を行いモニタリングにて家族の意見、要望を記入してもらい今後のケアに繋げる。	3ヶ月に1回、モニタリングを実施し、作成したモニタリング表を2部家族に送付し、家族の意見欄に質問や意見を記入し、1部を返送していただき、介護計画に反映させています。変化が生じた場合は、医師や看護師の意見も取り入れ、随時介護計画の見直しを行っています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のサービス提供表の記録を参考に会議にて話し合う。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	実施期間の終了前に見直しを行い、状況変化に応じた対応をする。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者の生き生きとした言動や笑顔を引き出す為の言葉かけや雰囲気づくりをしている。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問診療レポートを家族に送っている。看護師は事前連絡のうえ、毎月健康チェック。医療連携表で職員と共有している。	入居時に、家族や本人の希望を伺ったうえで、かかりつけ医を決めていただいています。現在は全員が事業所のかかりつけ医の月2回の訪問診療を受診しています。医療連携をとっており、看護師は月2回健康面のサポートの定期巡回があります。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携を通し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している。些細なこともすぐ相談にのって頂ける環境づくりを心がけている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際は面会をしながら助言をうけているが、コロナ禍で電話でのやりとりが主。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族に意見、医療との関係等により、どう向き合って対応していくかの話し合いをする。入居時に重要事項と共に重度化や終末期に向けた指針を説明し、同意書を交わしている。看取りの経験もあり、看取り介護の際は家族と再確認しています。	入居時に、重要事項と重度化や終末期に向けた指針を基に説明を行い、同意書を交わしています。延命治療に関しては、家族と話し合いを重ね、事業所が出来ること・出来ないことについて説明し、利用者が穏やかな最期を迎えられるよう支援しています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	すぐ主治医に連絡し指示をおおぐ。日常のケアを通し、対応方法の話し合いをしている。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を通し、混乱を招かない環境づくりを徹底している。消防計画書を作り、実施後に書類を消防署に提出している。食料、避難用具は備蓄されている。	年2回、利用者も参加して避難訓練を行っています。事業所のある建物の、2・3階の住民には、事前に知らせています。昨年の避難訓練では「火災発生にて非常口からの避難」の設定で、利用者と共にを行いました。消防計画書を作り、実施後に消防署に提出しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや呼びかけは人格を尊重し形だけにこだわって親しみが薄れないよう工夫している。	理念に「個別性を尊重したケア」とあり、主役は利用者という認識を持ち、職員のペースで動かないよう心掛けています。呼びかけは、家族に呼ばれていた名前を確認し、形にこだわって親しみが薄れないよう工夫するなど、入居前と同じように過ごしていただくことを基本としています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	楽しみが見出せるよう場面づくり等の支援をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の好みに合わせている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人一人の個性を大切にした髪型やおしゃれを支援している。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	力量に合わせた対応にて見守りや、一緒に行っている。食前には嚥下体操をしっかりと行っている。	季節感・彩り・品数などに気配りのある、手作りの食事を提供しています。料理の得意な職員が多く、農家からいただいた旬の野菜や、買って来た旬の食材を基においしい料理を提供し、利用者に喜ばれています。誕生日には、その方の好みの料理やケーキでお祝いしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	検査結果を踏まえ、主治医、看護師の指示により対応。美味しいものを楽しく食べられるよう、介助する一方ではなく意思や気持ちを大切にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯の管理は職員で行っているが、口腔ケアは本人の力に応じている。一人でできる方は声替え、歯ブラシスポンジ介助数名。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	可能な限り、トイレでの排泄を促し、3時間ごとに誘導。オムツの使用を減らす努力をしている。	排泄の自立度の高い利用者も多く、自分の意思でトイレでの排泄に繋げ、職員はさりげなく様子を確認しています。支援が必要な方は、3時間ごとの誘導や、様子を見ての声掛け誘導でトイレでの排泄に向けた支援を行っています。夜間はポータブルトイレを使用する方もいます。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便表を参考に薬の服用や食材にも力を入れている。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回を目安に実施、無理強いせず、その時々で時間、順番を話し合い気持ち良く入浴できるよう対応している。	週2回の入浴を基本とした支援を行っています。入浴前には、健康状態を確認し、無理強いせず、利用者の気持ちに寄り添った対応をしています。シャワー浴をする場合は、足浴をしながら温まるよう配慮しています。入浴剤・漢方湯・ゆず湯・菖蒲湯などの季節感も楽しんでいただいています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人が居心地良く過ごせるよう工夫しているマイペースを尊重。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	症状の変化には医療連携と密をとっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	午後3時のおやつ前後の数時間、物づくりやお手伝いにての共有時間、一緒におやつを食べる事での癒しの場作り。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で控えざるを得ない外出、施設内玄関先、庭でお茶を飲み、日向ぼっこ、バーベキュー等をしている。	コロナ禍の為、外出を控えているので、室内でのレクリエーションに力を入れています。ハロウィーンでは、玄関先でバーベキューを行い、通りがかった方に「MOMO」の存在を知っていただきました。コロナが落ち着いたら、市の招待のある七夕を見に行ったり、桜を見に行きたいと考えています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人所持はなく、施設側にて預かり金として預かっている。欲しい物はそこから出金している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの手紙、電話等に対応しており、関係性を良くしている。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感を取り入れて居心地よく過ごせるよう工夫している。入居者手作りの品で仕上げている。	事業所名と同じく、桃色の色調で統一し、温かさと明るさがあります。消毒や窓開けで、感染対策を万全にしています。リビングは床暖房で環境にも配慮しています。季節感を感じられるよう、雛人形や桜の花飾り、冬には手作りのクリスマスツリーなどで、季節を取り入れ、居心地よく過ごしていただけるよう、工夫しています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室に客用の椅子等を置きリラックスした空間を提供している。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真を飾ったり、ラジオ等、身の回りの物を持ち込んで居心地良く過ごせるよう支援している。	居室ごとに、壁紙や床の色、雰囲気がそれぞれ違っています。エアコン・クローゼット・洗面台が完備されています。入居時に、好みの物を持ち込んでいただき、テレビを見たり、ラジオを聞いたり、CDで音楽をかけたり、本を読むなど、思い思いに過ごせるよう支援しています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	可能な限り「出来る事」「わかること」を活かして生活が出来るよう支援している。		

目 標 達 成 計 画

事業所 グループホームMOMO

作成日 令和5年3月3日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		申送りが曖昧で通常業務に支障を生じることが多々ある。	確実に伝える。	伝えたいことを、的確にまとめて伝える。	3か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。